

平成 25 年度第 2 回別海町文化財保護審議会

資 料

資料 1	報告第 1 号（新たに確認した埋蔵文化財包蔵地について）関係資料	1 頁
資料 2	報告第 2 号（平成 25 年度文化財保護保存実績報告について）関係資料	5 頁
資料 3	報告第 3 号（「本別海一本松」への支え木の設置について）関係資料	10 頁
資料 4	協議第 1 号（平成 26 年度から平成 30 年度までの文化財保護保存計画について）関係資料	15 頁

資料 1

平成 25 年度に新たに確認した埋蔵文化財包蔵地

1. 中春別 3 遺跡

- (1) 登録番号 N - 0 2 - 8 6
- (2) 種別 集落跡
- (3) 所在地 野付郡別海町中春別 223-1
- (4) 土地所有者 民有地
- (5) 時代 擦文
- (6) 調査・文献 平成 25 年 6 月 別海町教育委員会 「踏査・発見」(石渡一人)
- (7) 包蔵地の概要
 - ① 立地：河岸段丘 ② 標高：40 m ③ 範囲（規模）：約 20 × 20 m
 - ④ 形態：方形（一辺× 3 m） 竪穴数 3 個



略図



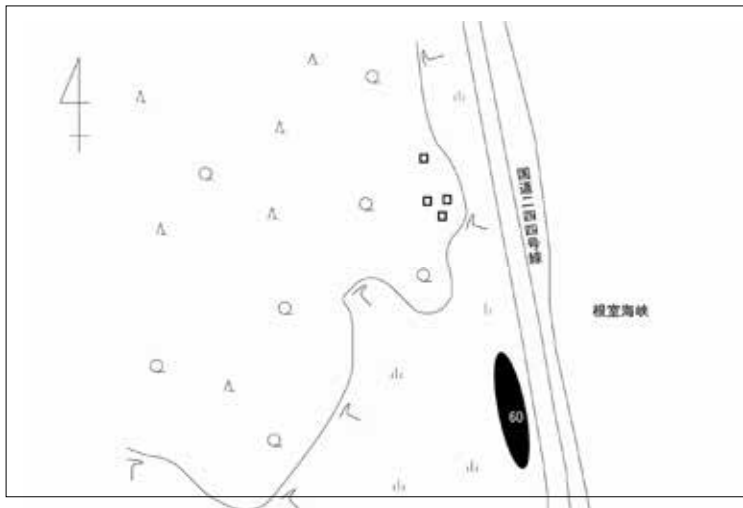
位置図



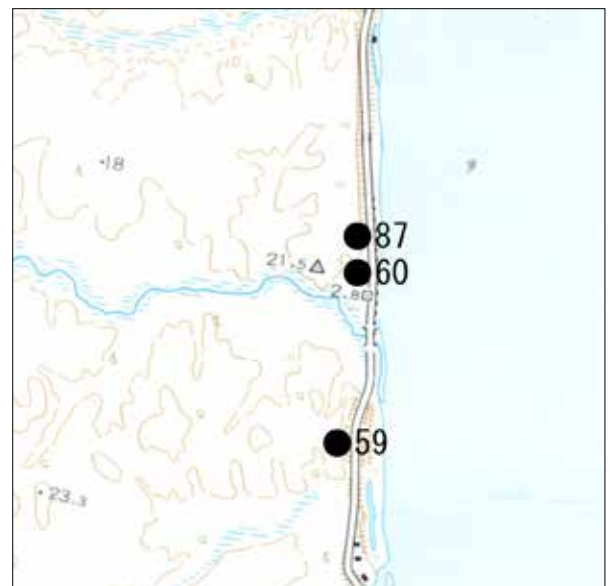
写真

2. 床丹3遺跡

- (1) 登録番号 N - 02 - 87
- (2) 種別 集落跡
- (3) 所在地 野付郡別海町床丹1-2
- (4) 土地所有者 北海道
- (5) 時代 擦文
- (6) 調査・文献 平成25年7月 別海町教育委員会 「踏査・発見」(石渡一人)
- (7) 包蔵地の概要
 - ① 立地：台地 ② 標高：22 m ③ 範囲（規模）：約 50 × 30 m
 - ④ 形態：方形（一辺 6 ～ 7 m） 竪穴数 4 個



略図



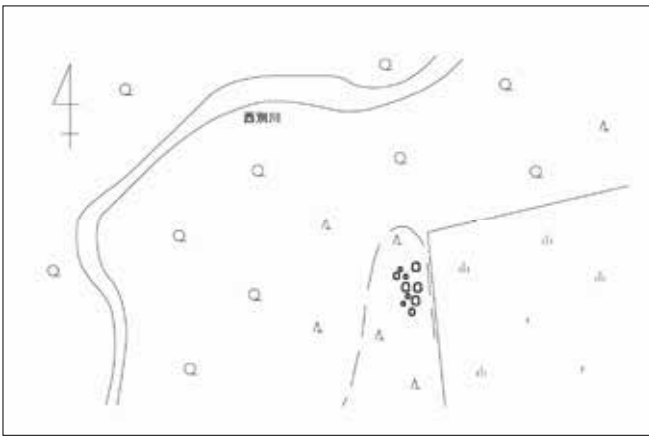
位置図



写真

3. 本別海 10 遺跡

- (1) 登録番号 N - 0 2 - 8 8
- (2) 種別 集落跡
- (3) 所在地 野付郡別海町本別海 9-53
- (4) 土地所有者 別海町
- (5) 時代 擦文
- (6) 調査・文献 平成 25 年 12 月 別海町教育委員会 「踏査・発見」(石渡一人)
- (7) 包蔵地の概要
 - ① 立地：台地 ② 標高：5 m ③ 範囲（規模）：約 50 × 40 m
 - ④ 形態：方形（一辺 3 ～ 5 m） 竪穴数 10 個



略図



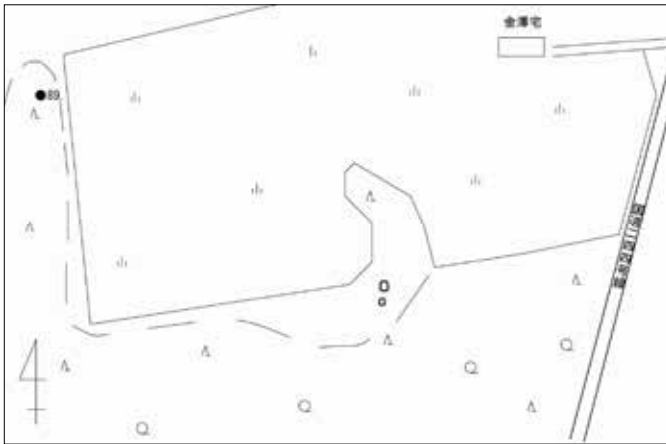
写真



位置図

4. 本別海 11 遺跡

- (1) 登録番号 N - 0 2 - 8 9
- (2) 種別 集落跡
- (3) 所在地 野野付郡別海町本別海 7-16
- (4) 土地所有者 民有地
- (5) 時代 擦文
- (6) 調査・文献 平成 2 5 年 6 月 別海町教育委員会 「踏査・発見」(石渡一人)
- (7) 包蔵地の概要
 - ① 立地：台地 ② 標高：5 m ③ 範囲（規模）：約 50 × 30 m
 - ④ 形態：方形（一辺 2 ～ 3 m） 竪穴数 2 個



略図



位置図



写真

平成 25 年度

文化財保護保存事業報告

1-2-3-01					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	生涯学習課		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	指定文化財一般公開事業				
事業内容・目的	町内における指定文化財の一般公開を実施し、国民の共有財産である文化財の保護思想の啓発と郷土における歴史文化の継承を図ります。				
評価指標	1. 見学者数 2. 解決できずに残った公開上の問題の数				
備考	奥行臼駅通及び奥行臼駅入場者数を参考値とします。				
年度	H21	H22	H23	H24	H25
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	600人	1500人	1500人	1500人	1500人
目標値2		0	0	0	0
実績1	1508人	1681人	2043人	1626人	1863人
実績2		0	0	1	0
評価	A	A	A	C	A

平成25年度実績

幼果菌核病に罹患した「野付の千島桜」の治療、「旧柏野尋常小学校奉安殿」「厨子入南矢臼別馬頭観世音菩薩坐像」の看板設置、「旧柏野尋常小学校奉安殿」の調査（委託事業）を実施しました。また倒木防止のため、「本別海一本松」に支え木を設置しました。千島桜は3度に渡る治療の効果が上がっており、開花が期待できる状況にあります。

1-2-3-02					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	生涯学習課		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	埋蔵文化財保護事業				
事業内容・目的	町内における箇所にある埋蔵文化財法蔵地の適切な管理を継続するため、「埋蔵文化財包蔵地図」等を用い開発事業者への埋蔵文化財蔵地情報の提供に努めると共に、開発事業実施に当たっては、十分な事前協議が行われるよう調整し、その保護保存を図ります。				
評価指標	1. 不法な開発行為数				
年度	H21	H22	H23	H24	H25
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	0件	0件	0件	0件	0件
実績1	0件	0件	0件	0件	0件
評価	B	B	B	B	B

平成25年度実績

6件の埋蔵文化財事前協議を実施しました。

1-2-3-03					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	生涯学習課		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	文化財情報提供事業				
事業内容・目的	町内における道指定及び町指定文化財並びに埋蔵文化財の情報提供として、「別海町文化財パンフレット」「道指定文化財奥行臼駅通パンフレット」「町ホームページ」を用い、町民及び観光客等への情報提供を図ります。				
評価指標	1. 情報提供物件数(現在既に町内物件全てのHP記事があります)				
備考					
年度	H21	H22	H23	H24	H25
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	16件	16件	16件	16件	17件
実績1	16件	16件	16件	17件	17件
評価	C	C	B	B	B
平成25年度実績					
別海町文化財パンフレットを改訂しました。(昨年9月に配布しております。)					

1-2-3-04					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	生涯学習課		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	文化財指定事業				
事業内容・目的	町内の文化財に類すると考えられる歴史・自然等に関する情報を「別海町文化財保護審議会」に提供し、検討・協議を行い、新規文化財物件として保護保存を図ります。				
評価指標	1. 対象物件の未保護における紛失・欠損数				
備考	別海町歴史文化遺産事業と連動				
年度	H21	H22	H23	H24	H25
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	0件	0件	0件	0件	0件
実績1	0件	0件	0件	0件	0件
評価	B	C	A	B	C
平成25年度実績					
新たな文化財の指定はありませんでしたが、別海町文化遺産に2件登録し、広報やホームページを通じて周知しています。					

1-2-3-07					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	生涯学習課	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	別海町文化歴史遺産認定事業				
事業内容・目的	町内には多くの地区があり、それぞれに大切な歴史や文化・自然があります。それらの物件と本町の歴史を保護し、保存活動をしている人たちを「別海町歴史文化遺産」として認定。その活動への協力を行なうよう図ります。				
評価指標	1. 情報提供回数 2. 新規登録文化財数				

年度	H21	H22	H23	H24	H25
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	2回	2回	2回	2回	2回
目標値2		5件	5件	5件	5件
実績1	2回	2回	1回	1回	1回
実績2		1件	1件	1件	2件
評価	C	C	D	D	C

平成25年度実績

「旧西別神社祠」「西別神社々誌」の2件を新たに認定しました。（今年度中にもう1件認定予定）

1-2-3-18					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	生涯学習課	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	奥行地区文化財保存整備事業				
事業内容・目的	奥行臼駅通他、奥行地区に集中している文化財の総合的な整備を進めます。				
評価指標	1. 奥行臼駅通と奥行臼駅の来館者数 2. 総合的整備の進捗状況				
備考					

年度	H21	H22	H23	H24	H25
実施計画		新規	○	○	○
目標値1		1500人	1500人	1500人	1500人
目標値2					
実績1		1681人	2043人	1626人	1863人
実績2					
決算額		243万円	214万円	737万円	-
評価		B	A	A	A

平成25年度実績

史跡旧奥行臼駅通所保存管理計画策定委員会を3回開催し、計画の答申を受けました。今年度中に計画を策定し、3月末に印刷・発行する予定です。

1-2-3-19			
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	生涯学習課
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。		
事業名	ヤチカンバ群落地保護事業		
事業内容・目的	ヤチカンバ群落地の保護保全を実施します。		
評価指標	1. モニタリングの実施と巡回の回数 2. 保護区域内での不法な採取の件数		
備考	平成23年3月道指定天然記念物に指定		

年度	H21	H22	H23	H24	H25
実施計画		新規	○	○	○
目標値1		6回	6回	6回	6回
目標値2		0件	0件	0件	0件
実績1		2回	4回	3回	3回
実績2		0件	0件	0件	0件
決算額		26万円	19万円	3万2千円	0円
評価		B	B	B	B

平成25年度実績

湿原の専門研究者に指導を受けながらモニタリングを実施するとともに、巡回監視を行いました。

資料 3

1. 金田樹木医による診断書

別海町「本別海の一本松（グイマツ）」診断書

カラマツ（ニホンカラマツ *Larix leptolepis*）は道内で造林木として導入され広まっています。この類似種としてグイマツ（*Larix gmelinii* アジア北方のカラマツと称する）があります。グイマツは湿地によく出現し成木では枝が水平に張り出し、優れた庭園樹になります。グイマツとニホンカラマツとの一代雑種はノネズミの害を受けにくい特色を持ち「ハイブリッドカラマツ」として人気の高い（CO₂吸収量が最も高い能力を持つ）品種育成に寄与することになりました。

本別海の本松は別海町指定文化財で推定樹齢 200 年以上といわれ、湿原に一本の姿を留め独特の樹姿を呈しています。2013 年 10 月 30 日現地を訪れ、観察する機会を得ました。その内容を報告いたします。



本別海の本松（グイマツ）の樹姿（10月30日）

1. 大きく傾斜した樹姿



①幹が南側に傾斜した一本松



②下枝が着地（赤矢印）



③着地した枝先の拡大（赤矢印）

グイマツは海側からの常風にさらされ幹が大きく傾斜（①）しています。枝先は着地し、地面につきささった状態で止まっています（②～③）。

2. グイマツは水平に枝を広げる



④枝の広がり状況



⑤樹冠内部の拡大

カラマツは水平に枝を長く伸ばす特色があります④。自然樹形をした樹冠内部は多くの枯枝も目立ちます⑤。いずれも材は堅く腐朽を感じさせません。この長く伸びた太枝のおかげで着地して、倒壊を免れたと思われます。

3. グイマツの地際



⑥地際の状況

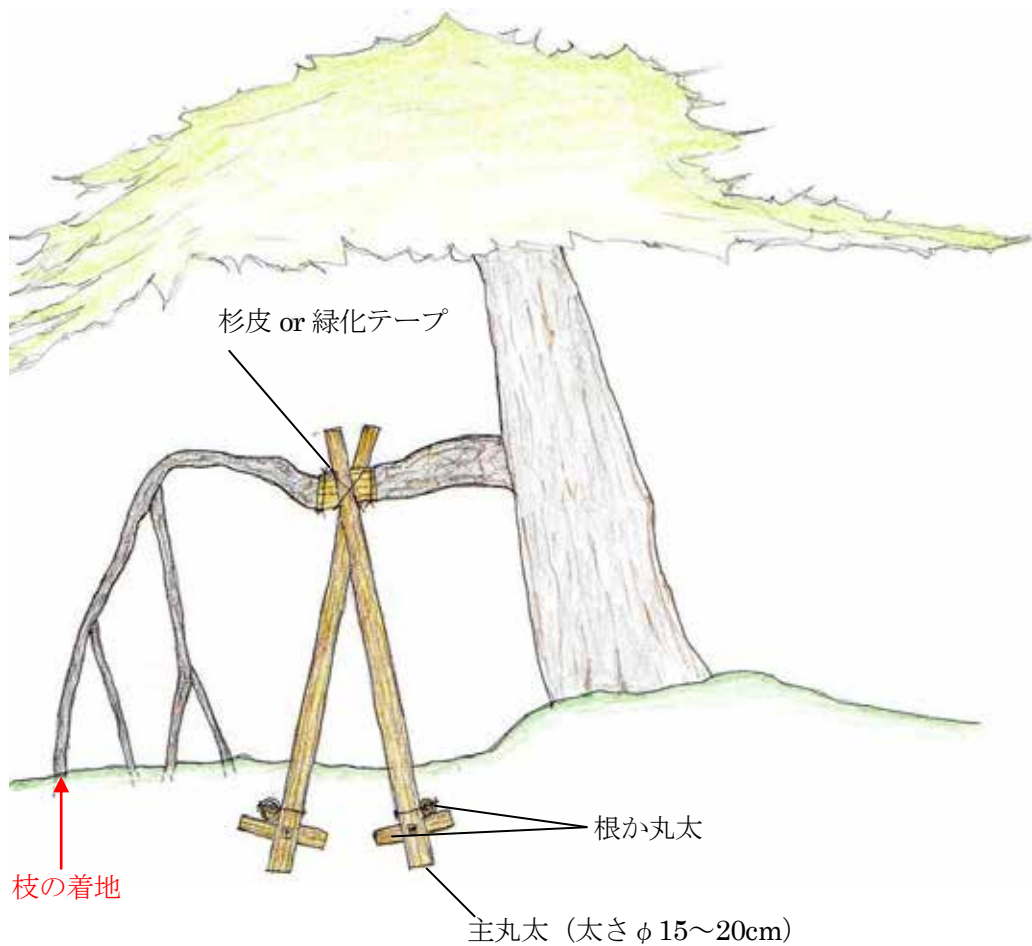
太い地際から横に長い根（支持根）が伸びています。湿地に育つ特色から、地中深くに根系伸長は少ないと思われます。今後、着地した枝先の腐朽、折損があれば、幹はより傾くことが予想されます。

4. 傾斜方向の太枝に支柱を付ける



⑦支柱設置予定の部位 (赤矢印)

大きく傾斜した太枝に丸太支柱を設置し (⑦~⑧) これ以上の傾きを防止する必要があります。グイマツの重さで沈下に耐える、太い丸太と地中の根かせを設置すると良いでしょう。



⑧本別海一本松支柱略図

支柱形態は現地にあわせた形にします。根入れ部は1m以上で沈下防止として根か丸太又は、角材を十字形に設置します。

5. 本別海の本松の景観

湿原に一本だけあるグイマツは大型野鳥の止まり木となり、絶好の写真撮影箇所になっています。太い丸太支柱はこの景観にそぐわないと思われます。一方倒壊した場合これを再生することは不可能で、本別海の本松を失うこととなります。応急処置として支柱を設置したいと思います。今後、樹勢回復処置を検討し、将来、設置した支柱を撤去できるように、一本松の樹勢を回復させる対策を考える必要があると思われます。

2. 支え木の設置措置について



本別海一本松添え木設置写真1
平成25年11月27日



本別海一本松添え木設置写真2
平成25年11月27日

平成 25 年 11 月 30 日釧路新聞

平成 26 ～ 30 年度

文化財保護保存事業計画

1-2-3-01					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	生涯学習課		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	指定文化財一般公開事業				
事業内容・目的	町内における指定文化財の一般公開を実施し、国民の共有財産である文化財の保護思想の啓発と郷土における歴史文化の継承を図ります。				
評価指標	1. 解決できずに残った公開上の問題の数				
備考					
中間評価	現状と課題について				
B	指定文化財の多数を占めている樹木類は、老木化や病気などの問題を抱えているものが多い。今後も樹木医の指導を受けながら、適切な処置をしていく必要がある。				
年度	H26	H27	H28	H29	H30
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	0	0	0	0	0
目標2					
評価					

H26-H30年度事業内容

町指定文化財を一般公開するため、看板の整備、維持管理、治療、修繕、ホームページの更新を随時実施する。特に「野付の千島桜」は幼果菌核病などに罹患しているため、樹木医による治療を毎年実施する。また、痛みが激しい「旧柏野尋常小学校奉安殿」の修理を実施する。なお奥行地区文化財は、奥行臼駅通所修理工事のため、平成30年度まで駅通所及び駅の内部公開は中止する。

H26年度事業内容

町内文化財の一般公開とそのための整備を行います。「野付の千島桜」と「本別海的一本松」の治療を実施します。予算額330千円。

1-2-3-02					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	生涯学習課・郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	埋蔵文化財保護事業				
事業内容・目的	町内にある埋蔵文化財包蔵地の適切な管理を継続するため、「埋蔵文化財包蔵地区」等を用い開発事業者への埋蔵文化財蔵地情報の提供に努めると共に、開発事業実施に当たっては、十分な事前協議が行われるよう調整し、その保護保存を図ります。				
評価指標	1. 不法な開発行為数				
中間評価	現状と課題について				
B	毎年およそ10件の事前協議を行っており、これまでのところ不法な開発行為は確認されていないが、今後も関係各所に本事業の趣旨を周知していく必要がある。				
年度	H26	H27	H28	H29	H30
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	0	0	0	0	0
評価					

H26-H30年度事業内容

関係機関と連携し、開発によって周知の埋蔵文化財である遺構及び遺物などの減失がないよう周知を実施します。また、埋蔵文化財の事前協議を含めた立会機会を増やし、未知の包蔵地の崩壊を未然に防げるよう取り組みます。

H26年度事業内容

埋蔵文化財包蔵地の周知と事前協議を実施し、未知の包蔵地の崩壊を未然に防げるよう取り組みます。（床丹1チャシ跡の発掘調査については別記）

1-2-3-03					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	生涯学習課		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	文化財情報提供事業				
事業内容・目的	町内における各種指定文化財、別海町歴史文化遺産並びに埋蔵文化財の情報提供として、「別海町文化財パンフレット」「町ホームページ」を用い、町民及び観光客等への情報提供を図ります。				
評価指標	1. 文化財関係ホームページへのアクセス総数				
備考					
中間評価	現状と課題について				
B	ホームページ公開とパンフレットの配布により、町内文化財についての情報を提供している。パンフレットについては、駅通所と文化財の更新を行い、配布している。ホームページの更新の頻度を高くする必要がある。				
年度	H26	H27	H28	H29	H30
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
評価					

H26-H30年度事業内容

指定文化財の新規追加、埋蔵文化財包蔵地の追加があった場合は、ホームページの更新に加えて、できるだけ早くパンフレットを改訂する。駅通所修理に伴い奥行地区文化財の内部公開を中止するため、修理の進捗状況をホームページで公開する。また、既に指定されている文化財の調査研究を進め、研究成果を提供する。

H26年度事業内容

旧奥行白駅通所を中心に、文化財関係のホームページの内容を充実させます。

1-2-3-04					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	生涯学習課		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	文化財指定事業				
事業内容・目的	町内の文化財に類すると考えられる歴史・自然等に関する情報を「別海町文化財保護審議会」に提供し、検討・協議を行い、新規文化財物件として保護保存を図ります。				
評価指標	1. 対象物件の未保護による消滅数				
備考	別海町歴史文化遺産事業と連動				
中間評価	現状と課題について				
B	別海町歴史文化遺産に登録した2件の文化財（「南矢白別馬頭観世音菩薩坐像」「柏野尋常小学校奉安殿」）を、町指定文化財に指定した。また、文化財の情報については、随時文化財保護審議会に提供し、協議を行った。				
年度	H26	H27	H28	H29	H30
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	0	0	0	0	0
評価					

H26-H30年度事業内容

別海町歴史文化遺産への登録を進める中で、町指定文化財に指定すべき物件については町文化財保護審議会に諮問し、指定を行います。

H26年度事業内容

別海町文化歴史遺産事業の成果を生かして地域文化の再発見を促し、新規文化財物件の事前調査として活用します。

1-2-3-07					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	生涯学習課	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	別海町歴史文化遺産認定事業				
事業内容・目的	町内には多くの地区があり、それぞれに大切な歴史や文化・自然があります。それらの物件と本町の歴史を保護し、保存活動をしている人たちを「別海町歴史文化遺産」として認定。その活動への協力を行なうよう図ります。				
評価指標	1. 新規登録数				
中間評価	現状と課題について				
C	現時点で5件を認定しており、そのうち2件は町指定文化財に昇格している。しかし、毎年5件程度としていた目標認定件数には届いていない。積極的な周知と埋もれている「お宝」の発掘が課題である。				
年度	H26	H27	H28	H29	H30
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	4	4	4	4	4
評価					

H26-H30年度事業内容

別海町には、指定はされていないが潜在的な文化財が数多く眠っている。これらの物件を積極的に認定し、別海町の「たからもの」として周知し、後世に伝えていくための制度が別海町歴史文化遺産である。条例に基づく指定文化財制度を補完する役割を持ち、知られていないために失われてしまうことを防ぐ狙いがある。後期計画では、交通遺産や学校関係遺産の認定に重点を置いて取り組んでいく。

H26年度事業内容

町広報を通じて、別海の住民の大切なものを募集し地域文化の再発見を行ないます。文化財としては、文化財保護審議会における協議の事前調査として活用します。

1-2-3-18					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	生涯学習課		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	奥行地区文化財保存整備事業				
事業内容・目的	奥行臼駅通他、奥行地区に集中している文化財の総合的な整備を進めます。				
評価指標	1. 総合的整備の進捗状況				
備考					
中間評価	現状と課題について				
A	史跡への指定後、保存管理計画策定委員会を立ち上げ、今年度計画が策定される予定である。今後は史跡指定地の町有地化、急務となっている駅通所の修理の実施、奥行地区文化財を一体として整備する史跡公園構想を実現化していくことになる。				
年度	H26	H27	H28	H29	H30
実施計画	○	○	○	○	○
目標1					
評価					

H26-H30年度事業内容

史跡旧奥行臼駅通所保存管理計画に基づき、以下のとおり奥行地区の文化財保存整備を進める。平成30年度までに駅通所の修理を完了し、平成31年度の公開を目指す。

- H26 史跡指定地の公有地化、駅通所保存修理基本設計
- H27 駅通所保存修理実施設計、史跡指定地追加指定
- H28 駅通所保存修理工事実施、史跡整備基本計画策定
- H29 駅通所保存修理工事実施、史跡公園第1期整備基本設計
- H30 駅通所保存修理工事完了、史跡公園第1期整備実施設計

H26年度事業内容

- ・史跡指定地のうち、私有地の部分（約5.4ha）をすべて公有地化します。
 - ・駅通所の保存修理基本設計を実施します。
 - ・史跡旧奥行臼駅通所整備基本計画検討委員会を立ち上げ、史跡の整備について検討を進めます。
 - ・修理実施に向けて資料の整理を行います。
- 予算額40,050千円（うち国庫補助額27,130千円）。

1-2-3-19					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	生涯学習課		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	ヤチカンバ群落地保護事業				
事業内容・目的	ヤチカンバ群落地の保護保全を実施します。				
評価指標	1. モニタリングの実施と巡回の回数 2. 保護区域内での不法な採取の件数				
備考	平成23年3月道指定天然記念物に指定				
中間評価	現状と課題について				
B	定期的な巡回とモニタリングを実施しており、保護区内での不法な採取も確認されていない。しかし指定地東西にある明渠が、ヤチカンバ群落地乾燥化の要因のひとつとなっているため、今後国の天然記念物への指定も視野に入れながら、保護計画を策定していく必要がある。				
年度	H26	H27	H28	H29	H30
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	3	3	3	3	3
目標2	0	0	0	0	0
評価					

H26-H30年度事業内容

定期的な巡回と水位モニタリングを毎年実施するとともに、平成30年度に植生調査を実施する。モニタリング・植生調査結果の分析は専門家に依頼し、今後必要な措置について意見を求めることとする。また国指定天然記念物への指定を視野に入れ、指定された場合は現在未指定となっているヤチカンバ生育地の指定、乾燥化を食い止めるための抜本的方策、公開活用の検討を行う。

H26年度事業内容

湿原の専門研究者に指導を受けながらモニタリングを実施するとともに、巡回監視を行います。また国の天然記念物指定を目指し、検討を進めます。予算額3万円。

1-2-3-20					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	生涯学習課		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	別海町歴史文化基本構想・別海町歴史的風致維持向上計画策定事業				
事業内容・目的	文化財保護のマスタープランである歴史文化基本構想を策定し、この構想を踏まえて「歴史まちづくり法」に基づく歴史的風致維持向上計画を策定する。				
評価指標	1. 構想・計画策定の進捗度				
備考					
年度	H26	H27	H28	H29	H30
実施計画	-	○	○	○	○
目標1					
評価					

H26-H30年度事業内容

H27 別海町歴史文化基本構想策定
H28 別海町歴史文化基本構想策定完了
H29 別海町歴史的風致維持向上計画策定
H30 別海町歴史的風致維持向上計画策定完了

※「歴史文化基本構想」～地域に存在する文化財を、指定・未指定にかかわらず幅広く捉えて、的確に把握し、文化財をその周辺環境まで含めて、総合的に保存・活用するための構想であり、地方公共団体が文化財保護行政を進めるための基本的な構想。

※「歴史まちづくり法」～正式名称「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」。「歴史的風致」を後世に継承するまちづくりの取組を国が支援するための法律。

※「歴史的風致維持向上計画」～「歴史まちづくり法」に基づき市町村が策定する計画。この計画が国に認定されると、様々な特別の措置や国による支援が受けられることになる。具体的には、史跡公園の整備（史跡指定地以外）への活用を計画している。

H26年度事業内容

平成26年度は、歴史文化基本構想の策定に向けた準備を進めることにします。

1-2-3-10					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	歴史や自然に関する調査研究				
事業内容・目的	町の歴史・自然に関する調査研究を計画的に進め、知られざる史実を掘り起こし、教育普及活動を通して、町民に広く公表します。				
評価指標	1. 調査件数				
備考					
中間評価	現状と課題について				
B	歴史部門については、別海町に関わる近世文献資料調査を5年実施し、調査を取りまとめた冊子「近世のべつかい」を刊行する事が出来ました。今後も町の古代、近代などの事柄を調査し、まとめて行きます。自然部門の調査研究は、町郷土研究会と協同で実施している風蓮湖動植物調査のみであることから、町内外研究者等と協力連携し調査を行う必要があります。				
年度	H26	H27	H28	H29	H30
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	2	2	2	2	2
評価					

H26-H30年度事業内容

郷土資料の収集・整理・調査研究と併行し調査研究を進めて行きます。歴史部門においては近代以降を中心に、自然部門については総体的に整理を進めた上で実施可能なものから着手して行きます。

H26年度事業内容

1. 歴史-埋蔵文化財調査事業（床丹1チャン跡発掘調査）※詳細は別添資料の通り
2. 歴史-別海町の農業関係資料調査
3. 歴史-加賀家文書詳細資料調査
4. 自然-風蓮湖周辺の動植物調査（町郷土研究会との共同調査）

平成 26 年度埋蔵文化財調査事業計画書

1. 文化財の概要

- (1)遺跡名：床丹 1 チャン跡（道教委登録番号：N02-60）
- (2)構造形式及び寸法：チャン跡（アイヌ文化）2,700 m²
- (3)所在地：別海町床丹 1-2

2. 調査事業の内容

概要：床丹 1 チャン跡を対象とする自然崩壊に伴う発掘調査。

全面発掘調査(チャン跡北側崩壊部分周辺 400 m²)及び詳細分布調査(60 m²)を実施する。

表土を除去した後、グリッド・トレンチ調査を行い、終了後は遺物整理を実施し、調査報告書を作成する。

3. 事業費

総事業費：5,459,000 円（内国庫補助金 2,727,000 円）

4. 調査期間

(1)事業期間：着手 交付決定日以降 ～ 完了 平成 27 年 3 月 31 日

(2)作業期間

①本発掘調査

a 発掘

平成 26 年 6 月 2 日 ～ 平成 26 年 7 月 31 日（実日数 42 日）

b 整理

平成 26 年 8 月 18 日 ～ 平成 26 年 10 月 22 日（実日数 45 日）

5. 調査の主体及び体制

(1)調査の主体者 北海道野付郡別海町教育委員会 教育長 真籠 毅

(2)発掘担当者 " 別海町郷土資料館 主査 石渡 一人

(3)調査体制

a 調査員 1 人

b 発掘作業員 6 人

c 整理作業員 2 人

6. 調査に至る経過

別海町の根室海峡側、ライトコタン川左岸に位置する床丹1チャシ跡(N-02-60)は、昭和51年(1976)北海道教育委員会の一般分布調査により発見された。その前年には北海道チャシ学会の藤本強、宇田川洋がチャシ跡の測量を行い、その成果は、北海道チャシ学会(1985)『北海道のチャシ集成図I(道東北篇)』に掲載されている。国道244号線附近ということもあり、比較的に日が行き届くものとなっていた。

そうしたところ、別海町郷土資料館主査石渡一人が床丹1チャシ跡付近を通行中に、チャシ跡の北東側のほぼ頂部から下部まで崩れているのを発見した。台風、低気圧の通過により地盤がゆるみ崩壊したものと思われる。

崩壊の状況を考えると、風雨などにより崩壊が南側に進行していくと考えられ、このまま放置すると、今後チャシ跡全体の崩壊に繋がる恐れがあると判断した。

平成24年5月15日(火)文化庁文化財部記念物課史跡部門、山下信一郎文化財調査官、北海道教育委員会文化財・博物館課、田才雅彦主査に現地を確認いただいた。

今後の取り扱いについて協議を行った結果、保護保存対策の基礎的なデータを得ることを目的に試掘調査を実施することとなった。

試掘調査は、平成24年8月21日(火)～22日(水)に北海道教育委員会文化財・博物館課、田才雅彦主査により行われた。チャシ跡の東西は、後世に何らかの手が加えられチャシ構築時の形状を留めていないが、これまで円形壕1条に囲まれた単郭のチャシ跡と考えられてきたが、8字状の壕に囲まれた複郭のチャシ跡である可能性が高まった。さらに、郭内に畝状遺構も確認された。

これを受け、別海町教育委員会は崩壊部分周辺を中心に平成25年度に発掘調査を行うべく計画してきたが、諸般の事情により断念した。崩壊部分は、ブルーシートにより保護養生したが、平成25年10月16日(水)に通過した台風26号により破損し、人的被害の起こる可能性が考えられたことからこれを撤去した。

平成26年度計画の調査は、今後崩壊が予想されるチャシ跡北側の全面発掘による記録保存、さらに、壕、郭内外にトレンチを設置し、チャシ跡の基礎的な情報を得るための詳細分布調査の実施を目的としている。

7. チャシについて(補足)

アイヌ民族が16世紀から18世紀頃に構築したもので、最初期のチャシは聖域としての性格が強く、次いでアイヌ族内での緊張状態の影響からチャランケの場として用いられるようになった。和人との戦いが激しくなると軍事施設としての役割が大きくなっていったのではないかとの見方がある。

さらに宝物が見つかることが多いことを指摘し、チャシはアイヌの富裕層が蓄積した宝物を保存する施設だったのではないかとの説もある。文献史料が存在しない、発掘調査例も少なく成立時期も不明であり、詳しいことは殆ど判っていない。

チャシの総数は不明であり、地名や伝承には残っているもののチャシの遺構は見つかっていないものも多い。1992年時点では526カ所確認されているが、謎にまつまれている。

チャシは基本的には高い場所に築かれ、壕や崖などで周囲と切り離された施設であり、その形態には孤島式、丘頂式、丘先式、面崖式などがある。1643年にオランダの商船カストリクム号が残した記録には、山の上に柵を張り巡らしたもので、柵の内部には2、3軒の住居が存在していたようである。

現在、町内では8ヶ所のチャシ跡が確認されている。

No	遺跡名	所在地
4	本別海チャシ跡	本別海 9
33	上風蓮1チャシ跡	上風蓮 155
55	上春別1チャシ跡	上春別 320
57	西春別1チャシ跡	西春別 130-5
60	床丹1チャシ跡	床丹 1-2(道有林釧路管理区 65 林班)
62	床丹2チャシ跡	床丹 1 道有林
70	尾岱沼岬チャシ跡	尾岱沼岬町 66-15
80	イド岬チャシ跡	国有林 101 林班い小班

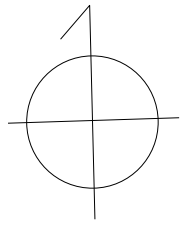
引用・参考文献『アイヌのチャシとその世界』北海道チャシ学会編（1994）など



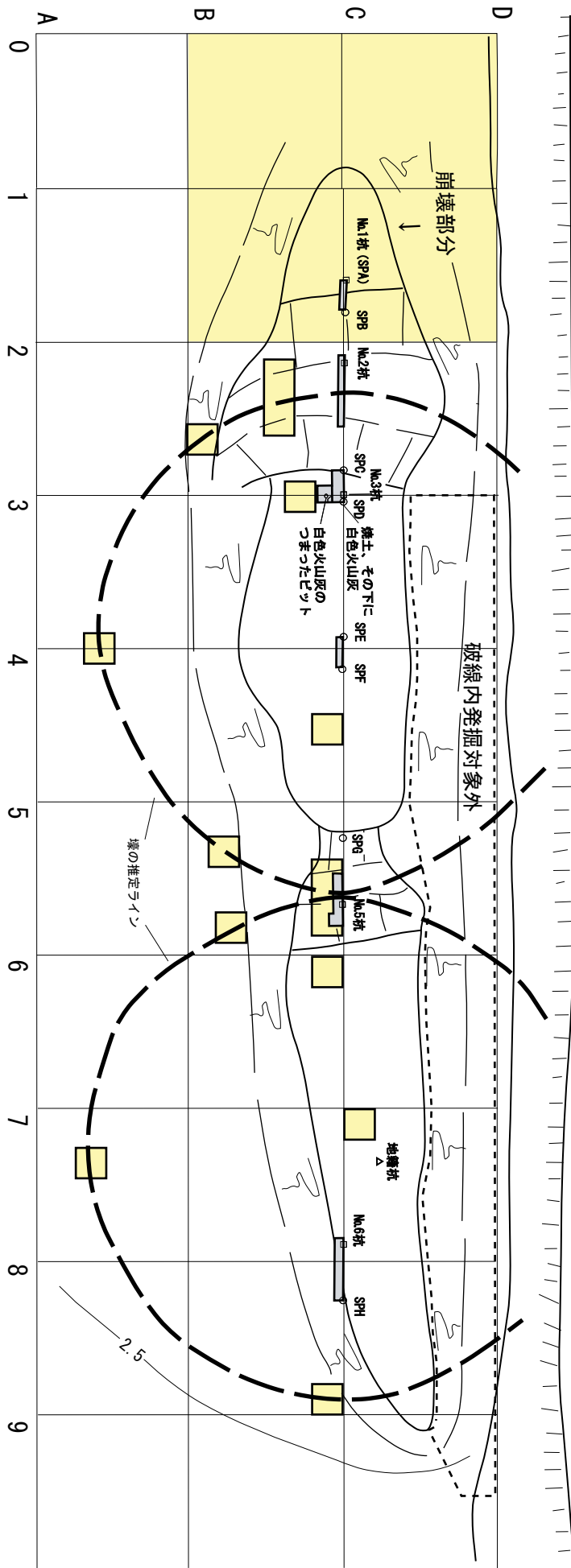
別海町の文化財一覧

①	北海道指定有形文化財	奥行臼駅遺
②	別海町指定文化財	ヤチカンバ群落地
③	◇	西別開基の松
④	◇	野付の千島桜
⑤	◇	試作場の松と桜
⑥	◇	オクユキウスの大榎・山藤の松
⑦	◇	中春別色丹カラ松林
⑧	◇	風連の榎林・開墾記念のスモモ
⑨	◇	奥行臼駅
⑩	◇	蝨山の松
⑪	◇	本別海一本松
⑫	◇	役場支所の柏

床丹1チャシ跡位置図



国道244号線



9. 床丹1 チャシ跡調査区設定図

平面図は、北海道チャシ学会編1985『北海道のチャシ集成図Ⅰ(道東北篇)』を元に、一部修正・加筆

- 調査対象面積 - 2,700㎡
- H24試掘調査 - 16㎡
- H26調査予定 - 460㎡
- 発掘対象外 - 315㎡(破線部分国道敷地)

写真



①床丹1 チャシ跡（遠景-南から）.



②床丹1 チャシ跡（崩壊状況-北側）